

◆ホットラインとは

・市町村長が行う避難勧告等の発令の判断を支援するための情報提供の一環として、必要に応じてダムの状況や下流河川の水位変化、今後の見通し等を市町村長等へ直接電話等で伝える仕組みのことです。

◆事前放流とは

・事前放流とは、利水者の協力(了解)を得て、大規模な洪水が予想される場合に、利水容量内の水の一部を事前に放流し、水害に備えるためのダム操作です。
・吉野川水系では、令和2年5月に河川管理者、ダム管理者及び関係利水者と協定を締結し、運用を開始しています。



ダム管理所では、下流沿川に係る関係機関に対して、例年出水期前に開催している早明浦ダムの防災操作(ダムからの放流)に関する説明会を開催しました。ダムの概要や洪水調節の方法、放流通知や警報を行うタイミング、選択取水設備の操作ルールについて解説するとともに、**ホットライン**の実施や**事前放流**の効果について説明しました。

参加者からは、サイレンを鳴らすだけではなく、しっかりと声をいただいております。



早明浦ダム防災操作説明会



早明浦ダム
ホームページ

↑スマホはこちらから



★★SDGsの取組み紹介(10)★★

早明浦ダムでは、リアルタイムでの情報公開を目的に、吉野川及び地蔵寺川沿いに「情報表示板」を設置しています。

ダムの操作状況や雨量、水位などの情報を河川利用者や地域の皆様に向け周知しています。

一部の機器が故障により表示ができない状態となっていましたが、7月1日からの洪水期前に修理が完了し表示できるようになりました。



環境学習会を開催しました

嶺北地域の小学生を対象に「川の環境学習会」を嶺北漁業協同組合と共に開催しました。大川小中学校を対象とした学習会当日は、朝から小雨が降り続く中でしたが、ダムの機能や役割とともに稚アユの放流を通じて吉野川の自然や恵みについて理解を深め、児童の記憶に残る学習会になったと思います。

令和7年対象校：
大川小中学校
吉野小学校
本山小学校



3001年の森～活動報告

未来の森づくりに参加しようをテーマに、令和7年6月20日、21日の2日間、大川村にて上下流交流会が開催されました。

ダム上流の水源地を守るため、「NPO法人新町川を守る会」が大川村から土地を借りて育てている「3001年の森」の下草刈り作業に汗を流しました。作業後、白滝の里に会場を移し、上下流の方々と交流し懇親を深めました。



さめうらダム遊覧船復活！

船の点検のため、令和7年4月から運航停止していた大川村さめうら遊覧船ですが、令和7年6月より運航が再開されています。雄大な山々の自然をのぞむ広々としたダムを風切って進む快感をぜひ味わってみては♪

運航日：4月～11月の土日祝日

空席があれば予約不要で乗船可

場 所：早明浦ダムから車で30分

連絡先：0887-84-2201

URL：https://okawafk.or.jp/information/4482/



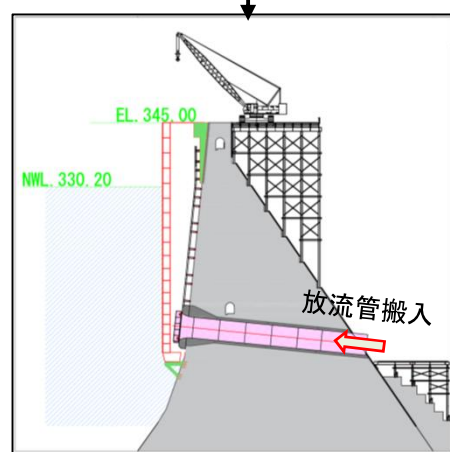
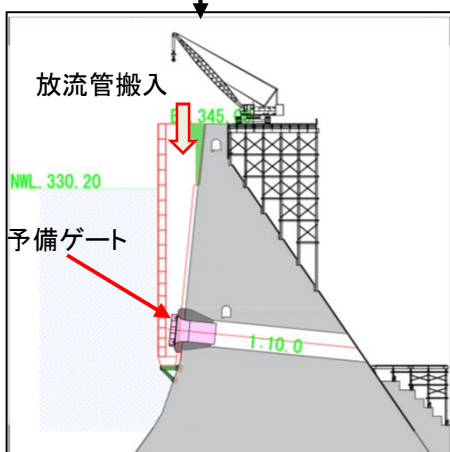
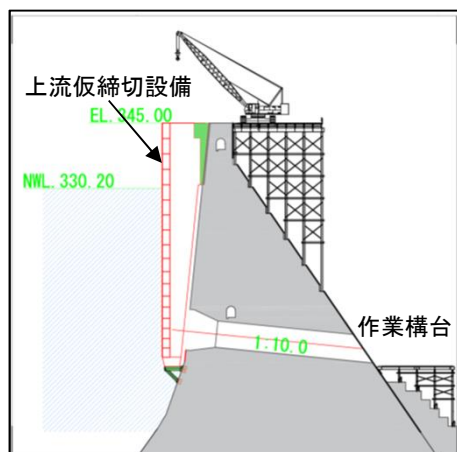
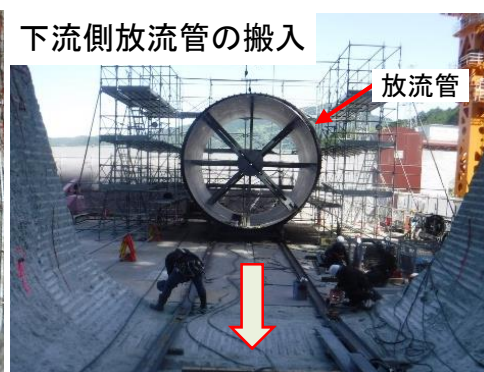
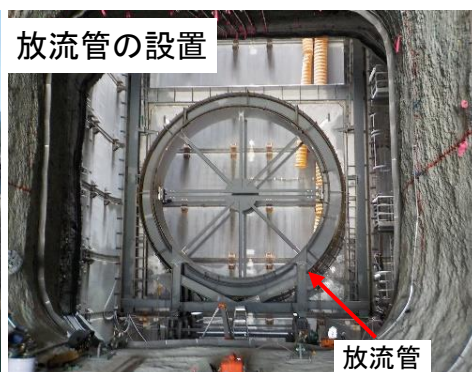
出典：でいぐ大川村HP

★ 早明浦ダム再生事業 工事進捗状況報告 ★

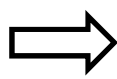
【増設する放流管の工事状況】

令和7年の3月に堤体に孔があきました。その中では、下流に水を流すための鋼製の放流管や水を止めるための予備ゲートの搬入、取り付け作業などを現在行っています。

作業はダム上流側に設置した蓋（上流仮締切設備）の内側や下流側の作業用の台（作業構台）から行い、多くの作業を一緒に行うこともあるため安全に留意しながら進めています。



令和7年3月
1本目の孔あけ完了



令和7年4月～6月
放流管・予備ゲート設置



令和7年6月～10月
放流管を下流から搬入
ダムの上流側から順につなげる

【工事用車両のタイヤ洗浄】

工事用車両が現場から県道等へ出る際、タイヤについた泥を人力や専用の機械によって落とすようにしています。道路沿いや側溝などの清掃も状況に応じて取り組んでいきます。

